# 宝 木

# 地域社会と人 へ権 も食堂がオー そして

秋山 智博

が変わろうとしています。 生活困窮者などそれぞれに公的 できていない現状にあります 支援が分かれていますが、 (制度の狭間にある課題など)。 高齢者・障害者・子ども の 暮らしを支える福祉 対応

図っていこうとしています。こ 住民や福祉関係者が把握し、 が抱えている地域生活課題を、 そこで、支援を必要とする住民 り,が鳥取市においても始まろ 決をめざす" 的支援との両輪で地域課題の解 のように地域で支え合う力と公 係機関との連携によって解決を つとしています。 地域共生社会づく

ている共生を妨げ 懇談会で取り上げ 気づくりは、 この地域共生社 地 域

取り組んでいきましょう。 重確立の道は一体です。 ます。福祉課題の解消と人権尊 **須**という活動と軌を一にしてい ている差別を解消することは必

域食堂』 月23日のオ 地域共生社会 高地域でもて の一端となる 『子ども・地 また、この が気

うにピーアールしています。(こ のページの最下段参照 れています。 くの方に利用していただけるよ ブンを目指 有志の方々により取り組ま 支援者の募集や多

# 権 とは

人権啓発推進員 小塩 信親

動等々私達は「人権」という言 葉をよく見聞きします。 八権尊重、 人権活動、 人権運

> か?」と問われて 人権、 れることも多くなりました。 「〇〇の人権」という表現に触 人権とは何なの あらためて 子供の人権、 被(加)害者の人権等、 障がい者の

たイメージを共有

はっきりとし

るにもかかわらず、なぜ大切な 蔓延しているように思います。 感のない人権感」が広く社会に のかよくわからないという「実 切なもの」という認識をしてい の為、多くの人々が「人権は大 が実状ではないでし できないというの ようか。

り方が微妙に異 然としており、 ります。しかし、この表現が漠 等などを保障される権利」とあ 来持っている、生命、 によると「人間が人間として生 そもそも人権とは、 により受け取 ものの本 自电平平



ハラスメントを なるのではない この差が〇〇

でしょうか?

ているようにも思われ 「人権」便利な言葉である故に ます?

定しており合計 18

回実施する

生む一因になっ

ることでしょう。

非常に使い方が機徴に感じられ

# 気高に子ども食堂がオー地域共生社会と人権

たかに、子ども食堂がオープン する予定です。 頭でも紹 介し たようにけ

自分が生まれた 目分自身のこと、 た子どもたちが、 「けたか」のこ

けたかで生まれ

行います。 の提供、学習支援、 り子ども食堂」を実施し、 むことを目的とし、「けたかくる けたか大好きな子どもたちを育 とを大切に思い、 相談支援を

ども食堂のことを からです。 知ってほしいという思いがある 色々な人たちにこ いません。それは、 に住む地域住民の 方だけに限定して 対象者はけたか 毎月第1・3金曜日実施を予

事務局:宝木地区公民館 Tel82-2407 • Fax82-2417 酒津地区公民館 Tel82-2990 • Fax82-3030

#### 役 員 名 簿

平成30年度~31年度

### 部落選出人権学習推進員

平成30年度

上光	岡田 寿浩
工儿	高浜 耕之輔
下光元	植田 繁夫
ド元元 	北村 正雄
夏ヶ谷	松本 隆寿
271	山本 礼子
常松	北村 公
富吉	村上 勲
宝木部落	木下 茂
五个印洛	福井芳宏
水尻部落	鯉口 玉則
小凡即洛	梅原 徹
奥沢見	谷中 健美
酒津	西垣 守
伯件	澤田保男

高浜 耕之輔   下光元 植田 繁夫   北村 正雄   夏ヶ谷 松本 隆寿   山本 礼之   常松 北村 公   富吉 村上 茂   福井芳玉 編印 後   水尻部落 経里口 張則   梅原 健夫   西垣 四垣   澤田 澤田	上光	岡田 寿浩							
下光元 北村 正雄   夏ヶ谷 松本 隆寿   山本 礼子 北村 公   富吉 村上 勲   宝木部落 本下 茂   福井芳宏 鯉口 玉則   本原 徹 谷中 健美   西垣 守	エル	高浜 耕之輔							
東方谷 松本 隆寿   山本 礼子   常松 北村 公   富吉 村上 勲   宝木部落 本下 茂   福井芳宏 鯉口 玉則   本原 徹   奥沢見 谷中 健美   西垣 守	7  -	植田 繁夫							
夏ヶ谷 山本 礼子   常松 北村 公   富吉 村上 勲   宝木部落 福井芳宏   水尻部落 鯉口 玉則   梅原 徹   奥沢見 谷中 健美   西垣 守	ト元元	北村 正雄							
山本 礼子   常松 北村 公   富吉 村上 勲   宝木部落 福井芳宏   桃尻部落 鯉口 玉則   梅原 徹   奥沢見 谷中 健美   西垣 守	百ヶ公	松本 隆寿							
富吉 村上 勲   宝木部落 福井芳宏   水尻部落 鯉口 玉則   梅原 徹   奥沢見 谷中 健美   西垣 守	ı	山本 礼子							
宝木部落 木下 茂   福井芳宏   水尻部落 鯉口 玉則   梅原 徹   奥沢見 谷中 健美   西垣 守	常松	北村 公							
基本 福井芳宏   水尻部落 鯉口 玉則   梅原 徹 谷中 健美   西垣 守	三二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	村上 勲							
水尻部落 一組井汚宏   水尻部落 一組工工則   梅原 徹 一個美工工工   西垣 守	4.	木下 茂							
本原物 梅原物   奥沢見 谷中健美   西垣守	五个印符	福井芳宏							
機別 機関   奥沢見 谷中 健美   西垣 守	4 田 故 落	鯉口 玉則							
洒津 西垣 守	小几叩洛	梅原 徹							
	奥沢見	谷中健美							
<sup>但件</sup> 澤田 保男	海油	西垣 守							
	/ 12 / 12 / 12 / 12 / 12 / 12 / 12 / 12	澤田保男							

### 平成30年度 事業予定

## \*小地域懇談会

9月頃より各部落で開催予定です。今 年度は多くの人が直面する課題「仕事 と介護の両立のために」をテーマに、 DVD を視聴しながら学習したいと思 います。

皆さんの参加を お待ちしております。

このような状況をなくして

숲		長	夏ヶ	· 谷	秋	Щ	智	博	解	放	同	盟	気	髙	支	部	長
			富	吉	吉	Ħ	和	行	宝	木	坩	k 1	<u>x</u>	公	民	館	長
副	会	長	酒	津	西	垣		守	酒	津	坩	t I	<u>ヌ</u>	公	民	館	長
			夏ヶ	· 谷	秋	山	智	博	解	放	同	盟	気	高	支	部	長
,	権啓	発	宝	木	藤	本	高	_	解	放	同	盟	気 i	高 ラ	: 部	役	員
推	進	員	宝	木	小	塩	信	親	人	椎	ì	啓	発	<b></b>	<u> </u>	進	員
																	_
			酒	津	西	尾	雅	彦	部気	落高	区地	長 城		福製金	祉譲	委委	員員
			上	光	岡	田	寿	浩	部	落	区	長	•	福	祉	委	員
			下州	允元	植	田	繁	夫	部	落	区	長	•	福	祉	委	員
部	落 代	表	夏ヶ	· 谷	松	本	隆	寿	部	落	区	長	•	福	祉	委	員
幹		事	疟	松	北	村		公	部	落	選上	ሁ <i>አ</i>	、権	学	習指	推進	員
			富	吉	村	上		勲	部	落	区	長	•	福	祉	委	員
			宝	木	木	下		茂	部	落	区	長	•	福	祉	委	員
			水	尻	鯉	П	玉	則	部	落	区	長	•	福	祉	委	員
			奥》	見	谷	中	健	美	部	落	区	長	•	福	祉	委	員
監		査	酒	津	瀧	本	昭	良	地	域	富者	止推	進	協	議会	₹理	事
			夏ヶ	谷	居	Л	結	香	気	高	人	権	福	独っ	ェン	タ	_
	問	酒	津	河	根	裕	=	保				護				司	
顧		IF)	上	光	岡	囲	寿	晃	学		識		経		験		者
	-																
事	務	局	強	木	奥	田耳	<b>〔樹</b>	子	宝	木	:	地	区	4	\$	民	館
ず 伤	/PJ	酒	津	涌	嶋	洋	_	酒	洱	t	地	区	1	<u> </u>	民	館	

#### 平成30年度 事業計画

期日	会		6H 16%	6H 16E				
4月	監査会							
5月	総会・三役会	<b></b>		<b>^</b>				
6月					人推協だより発行			
7月			推進員全体研修会	披				
8月	三役会 役員会	4						
9月		小音		<b>#</b> ⇔				
10月		地域		大会				
11月		地域器設金						
12月	三役会 🚽		推進員全体研修会					
1月	役員会			*				
2月					_			
3月	三役会	*	交流会	交流会				

のようです。ジェンダーは、 的・文化的に作られてきたもの でしょうか。「社会的・文化的性 る言葉「ジェンダー」をご存知 たちの意識や生活にとけこんで したが、これらはむしろ社会 らのものであると思われていま のことを指すようです。これま 人権問題の中で取り上げられ こうした性差は生まれなが 習慣に縛られたものの見 女性らしさ・男らしさ」 言動をしていることであ 私

> 事務局:宝木地区公民館 Tel82-2407 • Fax82-2417 酒津地区公民館 Tel82-2990 • Fax82-3030